

# 平成28年度 全国学力・学習状況調査の結果

京都市立西賀茂中学校

4月19日に、本校3年生230名を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、結果がまとめました。本調査は、国語と数学のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を使う調査も実施されており、生活習慣と学力との関係など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

## 【総合結果（国語・数学）】

すべての学力調査において全国平均を上回るとともに、京都市平均と比べてみても、国語Aは1.0ポイント、数学A・数学Bは2.0ポイント上回っており、概ね良好な結果が得られました。しかし、今回調査のなかった理科については、京都市が行っている「学習確認プログラム」では良好な結果は得られていませんので、しっかり復習していく必要があります。

	国語A(知識)	国語B(活用)	数学A(知識)	数学B(活用)	理科
全国	75.6	66.5	62.2	44.1	
京都府	75.8	67.2	63.3	45.0	
京都市	75.9	67.8	63.4	45.6	

## 【国語について】



国語A・国語Bともに概ね良好な結果が得られています。しかし、自分の考えをまとめて答える問題については、「筋道を立てて、きっちりと述べる」という点では不十分さが見られます。今まで以上に、文章を読み、内容を理解し、的確に読解する力を身に付けていかなければなりません。また、国語の教科だけに限らず、あらゆる教育活動の中で、自分の意見をまとめて発表したり、他の人の意見をしっかり聴いて自分の考えをまとめ直したりする活動を大切にしていきましょう。

## 【数学について】

数学A・数学Bともに概ね良好な結果が得られており、基礎学力については一定身に付いていると考えられます。しかし、数学Aを領域別に見ると、「数と式・図形」の領域はある程度できていますが、「関数・資料の活用」の正答率が低くなっています。また、数学Bの記述式の問題の正答率が低い状況が見られます。これは、決められた考え方で解く問題はできるけれども、問題の本質を理解していない生徒が多いことを示しています。数学では、従来「答えを求める部分」が重視されてきましたが、近年は



「答えにいたるまでの過程や理由」に重点が置かれています。日々の授業の中で、「問題の解き方・考え方」を説明させる機会を増やしたり、生徒自身も「なぜ、そうしたら答えが出るのか」を意識して問題を解く必要があります。

## 【生徒質問紙調査より（1）】

- Q 学校の授業時間以外に、普段（月～金）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしていますか  
Q 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしていますか  
(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)

家庭学習の状況（%）		4時間以上	3時間以上	2～3時間	1～2時間	1時間以下	全くしない	その他	無回答
平日 (月～金)	西賀茂中		13.8	22.8	31.5	22.4	9.5	0.0	0.0
	全国		9.4	24.8	33.7	26.6	5.5	0.0	0.1
学校休業日 (土・日)	西賀茂中	6.0	10.8	12.1	25.0	24.6	21.6	0.0	0.0
	全国	5.1	11.5	23.5	27.7	21.0	11.0	0.0	0.1

「平日、1日3時間以上勉強する」「学校休業日に4時間以上勉強する」生徒の割合が、全国平均よりも大きく上回っている一方で、「全くしない」と答えた生徒の割合も全国平均を上回っています。特に、「学校休業日には全く勉強しない」という生徒が21.6%もあり、全国平均の11.0%に比べて多く、「家庭学習を行う生徒」と「全くしない生徒」の学力に大きな影響を与えています。

## 【生徒質問紙調査より（2）】

Q 普段（月～金）、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか

（コンピュータゲーム・携帯式のゲーム・携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）

Q 普段（月～金）、1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）

使用状況について（%）	4時間以上	3～4時間	2～3時間	1～2時間	1時間以下	全くない 持っていない	その他	無回答
ゲーム (月～金)	西賀茂中 9.7	13.8 10.3	22.8	14.2	25.4	13.4	0.0	0.0
	全国	9.2	16.0	22.2	26.3	16.6	0.0	0.1
携帯・スマホ (月～金)	西賀茂中 8.6	16.4 9.9	17.7	17.2	26.2	11.6	0.9	0.0
	全国	8.0	13.5	17.7	34.1	18.8	0.2	0.1

1日2時間以上テレビゲームしている生徒の割合を合計すると、本校は46.9%となり、全国平均の34.9%を大きく上回っています。また、携帯電話やスマートフォンで通話やメールをする時間も、1日2時間以上している生徒の割合を合計すると、本校は44.0%となり、全国平均の30.1%を大きく上回っています。また、携帯電話やスマートフォンの所持率も全国平均を大きく上回っており、携帯電話やスマートフォンへの依存症にならないためにも、お子たちの携帯電話やスマートフォンの使用に関するルールについて、ご家族でしっかり話し合っていただきたいと思います。



## 【全体を通した本校の成果と課題】

日々の指導方法の改善や、補充学習を実施したりしながら、できるだけ個に合った指導に努めてきました。また、生徒たちも自らのテスト結果等の成績を振り返り、弱点を補充プリントで繰り返し学習してきました。おかげさまで、すべての学力調査において、概ね良好な結果が得られました。

しかし、個々の問題を分析すると、自分の考えを説明したり文章に書くことや感想文を書くことが苦手な生徒が多いことがわかりました。また、読書の好きな生徒の割合が、全国平均と比べると10ポイント以上も低く、ここにも課題が見受けられました。今後は、読書の習慣を身に付けたり、読書感想文を書いて発表したりする取組も強化していく必要があると思います。

また、生徒質問紙結果（1）でも示したように、平日や学校休業日に予習や復習などの家庭学習を行った生徒と「全くしない生徒」の学力には大きな差があります。特に、本校では「学校休業日には全く勉強しない」という生徒が21.6%もあり、全国平均の11.0%に比べて多く、ここを大きな課題ととらえています。（※昨年度の3年生の場合も20.3%）

学校として、ある程度の宿題を家庭学習として課すことは必要なことだと思いますが、家庭学習のすべてを宿題に頼ることについては問題があると考えております。生徒一人一人の学習到達度も違いますし、中学校卒業後の目指す進路も多岐に分かれています。やはり、自分の課題をしっかり把握して、自分の自分にとって必要な学習に取り組むこと、いわゆる「自学自習」ができるように努力していかなければなりません。

社会に出た時には、必ず「自学自習」が必要になります。社会人の仕事のほぼすべてが「自学自習」を必要としているからです。自分で考えて、行動し、失敗して、改善して、また新たに取り組んでいく人を社会は求めています。学校もご家庭でも、このことを意識して取り組んでいきたいと思います。

## 【保護者の皆様へ】

全国学力・学習状況調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性を更に伸ばしたり、課題を解決していくためのものです。結果が学力の全てを表しているのではなく、順位を競うものではありません。学力は、学校・家庭・地域での地道な積み重ねにより定着していくものであり、望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤となります。今後とも、子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力をお願いいたします。